

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01総務費

項 01総務管理費

目 01一般管理費

事務事業番号 01010107

事業名		総合行政システム改修事業		担当部署	福祉部 介護福祉課			
根拠法令								
令和2年度決算額		5,696	千円	項目評価				総合評価 A
財源内訳	国道支出金	2,868	千円					
	地方債		千円					
	その他	2,828	千円					
	一般財源		千円					
事業費（総計）		7,106	千円					
決算額		5,696	千円					
人件費		1,410	千円					
事業の目的		令和3年度の介護保険制度改正に対応する等のため、総合行政システムの改修を行います。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>令和3年度の介護保険制度改正等に伴う総合行政システムの改修として、介護保険料に係る税制改正対応、認定ソフトバージョンアップに伴う項目追加、介護予防・日常生活支援総合事業利用者の基本チェックリストの入力及び送信機能の追加等を実施しました。</p>						
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度		
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				介護保険制度改正等に伴い必要な改修であることから、「4」としました。		
効率性		●				介護保険制度改正等に伴い必要な改修であることから、「4」としました。		
公平性		●				介護保険制度改正等に伴い必要な改修であることから、「4」としました。		
将来性		●				介護保険制度改正等に伴い必要な改修であることから、「4」としました。		
総合評価		A		介護保険制度改正等に伴い必要な改修事業です。今後においても、制度改正等に適切に対応していくため、総合行政システムの改修等を行います。				
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01総務費

項 04趣旨普及費

目 01趣旨普及費

事務事業番号 01040108

事業名		第8期版パンフレット作成及び配布事業		担当部署	福祉部 介護福祉課			
根拠法令								
令和2年度決算額		3,238	千円	項目評価				総合評価 A
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他	3,238	千円					
	一般財源		千円					
事業費（総計）		11,700	千円					
決算額		3,238	千円					
人件費		8,462	千円					
事業の目的		第8期介護保険事業計画の策定にあわせ、改正後の介護保険サービスの内容等について広く周知を図るため、介護保険・高齢者サービスガイドを作成します。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>令和3年度以降の介護保険サービスの内容等について、わかりやすく掲載したパンフレットである「介護保険・高齢者サービスガイド」を90,000部作成しました。（令和3年度に市内全戸配布を行います。）</p>						
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度		
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				介護保険サービスの内容等について市民周知を図るための効果的なツールとなっていることから、「4」としました。		
効率性		●				広告料収入を一部財源に活用することで、最小の経費により大きな効果が得られているため、「4」としました。		
公平性		●				全ての市民に対する周知を図るものであり、ホームページへの掲載のほか、令和3年度に全戸配布を予定していることから、「4」としました。		
将来性		●				令和3年度から3年間における介護保険サービス等について周知を図るものであり、継続した取組が必要であるため、「4」としました。		
総合評価		A		パンフレットの作成により、介護保険サービスの内容等について効果的に市民周知を図ることができます。今後においても、窓口業務や出前講座等で活用を図り、効果的な市民周知を行います。				
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01総務費 項 05介護保険事業等運営委員会費 目 01介護保険事業等運営委員会費 事務事業番号 01050109

事業名		第8期介護保険事業計画等策定事業		担当部署	福祉部 介護福祉課				
根拠法令		介護保険法第117条第1項、老人福祉法第20条の8第1項							
令和2年度決算額	3,650	千円	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="margin-right: 20px;">項目評価</div> <div style="margin-left: 20px;">総合評価</div> </div>						
財源内訳	国道支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	3,650 千円							
	一般財源	千円							
事業費（総計）	10,702	千円							
決算額	3,650	千円							
人件費	7,052	千円							
事業の目的	介護保険法及び老人福祉法に基づき、3年を1期とする「苫小牧市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定します。								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 計画策定 公募型プロポーザルにより選定した事業者とともに、計画策定のため、調査結果の分析や立案を進めました。また、パブリックコメントの実施により市民の意見を聴取し、計画へ反映しました。 運営委員会の開催 関係団体や公募委員で構成する介護保険事業等運営委員会を開催し、計画に対する意見や提言を受け、計画へ反映しました。 計画書の作成 策定した計画を計画書として印刷・製本し、関係機関に配付しました。 								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度			
	介護保険事業等運営委員会		回	3	2	1			
	パブリックコメントにおける提出意見数		項目	15	-	-			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2					1	
	有効性	●				本市における地域包括ケアシステムの推進を図り、円滑な介護保険事業の運営に向け重要な計画となることから、「4」としました。			
	効率性	●				策定業務の一部を民間事業者へ委託し、効率的な計画策定を進めたことから、「4」としました。			
	公平性	●				計画の策定に当たり、パブリックコメント等で広く市民の意見聴取を行ったことから、「4」としました。			
将来性	●				今後3年間の介護保険事業及び高齢者福祉施策において重要な計画となることから、「4」としました。				
総合評価	A			アンケート調査結果や統計情報の分析等により、本市における課題を抽出・把握した上で計画を策定することができ、有効性は高いものと考えます。今後は、計画に基づく取組を着実に進めていく必要があります。					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01総務費

項 06生活支援サービス事業費

目 01生活支援サービス事業費

事務事業番号 01060110

事業名		生活支援サービス事業		担当部署	福祉部 介護福祉課			
根拠法令		苫小牧市生活支援サービス事業補助金交付要綱						
令和2年度決算額		2,110	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他	2,110	千円					
	一般財源		千円					
事業費（総計）		3,520	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 A </div>				
決算額		2,110	千円					
人件費		1,410	千円					
事業の目的		介護予防・日常生活支援総合事業における住民主体の多様なサービスを実施する各種団体に対して支援を行い、地域包括ケアシステム構築の実現を図ります。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>多様なサービスを実施する団体に対し、事業に要する費用の一部を補助しました。また、利用者が市民税非課税者である場合、利用者からの申請に基づき利用料の減免を行うとともに、減免した額の一部について補助しました。</p>						
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度	
		生活支援サービス事業利用件数		件	733	1,056	1,161	
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				介護予防・日常生活支援総合事業における多様なサービスとして、住民主体のサービスを安定的かつ継続的に提供しているため、「4」としました。		
効率性			●			事業実施により目的に適った効果が得られていますが、令和2年度は実施件数が減少していることから、「3」としました。		
公平性		●				市内の全域が対象となる事業であるため、「4」としました。		
将来性			●			高齢者の増加に伴い利用者数の増加が見込まれ、継続した事業実施が必要となることから、「3」としました。		
総合評価		A				事業に要する費用の一部を補助することで、総合事業における多様なサービスとして、住民主体のサービスを安定的かつ継続的に提供できます。今後も事業継続に努めることにより、地域包括ケアシステムの実現を目指します。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 06基金積立金

項 01基金積立金

目 01介護給付費準備基金積立金

事務事業番号

06010111

事業名		介護給付費準備基金積立金		担当部署	福祉部 介護福祉課		
根拠法令		苫小牧市介護給付費準備基金条例					
令和2年度決算額		102,436	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他	67	千円				
	一般財源	102,369	千円				
事業費（総計）		103,141	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価 A</div>			
決算額		102,436	千円				
人件費		705	千円				
事業の目的		特別会計の剰余金及び運用利息を積み立てし、次年度以降の介護給付に要する費用等の財源に充てること目的としています。					
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>令和元年度末基金残高 759,695,883円 令和2年度基金積立金 102,436,149円 令和2年度基金取崩し額 0円 令和2年度末基金残高 862,132,032円</p>					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R2年度	R1年度	H30年度
		基金の年度末残高		千円	862,132	759,696	516,849
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				次年度以降の介護給付に要する費用に対する財源として備えるものであるため、「4」としました。	
効率性		●				次年度以降の介護給付に要する費用に対する財源として備えるものであるため、「4」としました。	
公平性		●				次年度以降の介護給付に要する費用に対する財源として備えるものであるため、「4」としました。	
将来性		●				次年度以降の介護給付に要する費用に対する財源として備えるものであるため、「4」としました。	
総合評価		A		発生した剰余金及び運用利息を確実に基金に積み立て、次年度以降の介護給付に要する費用の財源とするものです。今後においても、介護保険料や介護給付費とのバランスを図りながら、基金の適正な管理を行います。			
特記事項							